



門真四中だより

「つながる」「わかる」「切り拓く」

令和5(2023)年5月11日

第10号

編集・発行：校長 上甲 尚

中間テスト一週間前!

～自己ベストをめざしてテスト対策勉強頑張ろう!～



今日から中間テスト一週間前です。家庭での学習時間を保障するために、クラブ活動はテストが終わるまで停止になります。しっかりと「テスト対策勉強」に取り組んで下さい。

定期テストは、授業で習ったことがどこまで理解できているか測る(試す)ために行われます。大阪府では公立高校受験の際に中学校の成績が重視され、1年生の成績から判断材料に含まれるようになってきました。1年生の皆さんは、中学校で初めての定期テスト、先生方のアドバイスをよく聞いて、しっかりテスト範囲の勉強をしてください。

勉強するのはしんどいこと、楽しくないことかも知れませんが、自分の将来の可能性を広げ、「より良い自分」になるため、より良い社会を作っていくために必要です。コツコツと勉強していけば少しずつわかるようになるし、そうなれば楽しくなってくるものです。無計画に勉強するのはなく、一日、一週間の計画を立てて勉強していきましょう。

時間は誰にでも平等に与えられています。自己ベストの取り組みをめざそう!自分の中の「怠け心」に負けるな!「継続は力なり」頑張れ、四中生!

幅広い知識得るために勉強する

私はこの春、大学生になった。振り返ってみると、受験生の時、勉強は受験のためにあるのではないかと思うことがあった。確かに勉強した結果、偏差値が高くなったのだから自信を持ってよいのだろう。

だが、勉強する本当の目的は幅広い価値観を持つことであると私は思っている。自分が興味を持っている分野だけではなく、いろいろな知識を持つことが大切だと思う。社会のあらゆる問題を解決するには、一人ひとりの行動が不可欠だ。そのためには何が問題なのかを理解し、判断に必要な知識を持っていなければならない。

また、言葉遣いや漢字の読み書きなどができなければ恥をかき、目上の人らに失礼な態度をとることもありうる。学ぶことは数多くあり、それを吸収することが人間形成につながっていくのだ。

なぜ、勉強するのかと疑問に思っている人は、常識ある社会人になるためと考えて、貪欲に知識を身につけてほしい。

愛媛県伊予郡 大学生 18歳女性

心が変われば、態度が変わる
 態度が変われば、行動が変わる
 行動が変われば、習慣が変わる
 習慣が変われば、人格が変わる
 人格が変われば、運命が変わる
 運命が変われば、人生が変わる

この言葉は、プロ野球で活躍した松井秀喜氏の星稜高校野球部時代の監督である山下智茂氏が、よく使われていた言葉だそうです。出典は諸説あるようですが、定かではありませんが、いい言葉なので皆さんに紹介します。

どんな人間が伸びていくのか...

WBC(ワールド・ベースボール・クラシック)で劇的な優勝を成し遂げた野球日本代表(侍ジャパン)のヘッドコーチ、白井一幸さんが著書の中で、「どんな人間が伸びていくのか」について、以下のように書かれています。読んでみてください。



スポーツの世界でも企業でも、どんな人間が伸びるかをひと言でいえば、当たり前のように「やる気」のある人間である。努力を惜しまないこと、工夫できること、一人でもがんばれること、その他いろいろなことが挙げられるが、これらを総じて結局は、「やる気」のある人間ということになるだろう。

では、その「やる気」を生み出すものは何だろう。その答えは、当たり前のように、ゆるぎない「目標」であり、「夢」であり、それに向かう「元気」であろう。目指したい「目標」や「夢」があれば、自然にエネルギーも湧いて「元気」になる。それこそが「やる気」である。

そして、これはおまけ以上のものだが、「やる気」のある人間は、まわりから見て苦しいようなことでも、平気で楽しむことができるという大きな余力がある。たとえ今はうまくいっていない状態にあり、そればかりか、そこでどんなに努力をしてもいっこうに上向かない状態だったとしても、それを乗り越えたところに必ずや大きな喜びがあると信じて「夢」を抱き続けることで、今の苦しみを楽しみに変えられる。(後略) (「メンタル・コーチング」白井一幸著より抜粋)

「千里の道も一歩から」 「夢」や「目標」に向かって、コツコツと努力していこう!